『当科における局所進行切除不能大腸癌の治療成績に関する後ろ向き症例集積調査』について

大腸癌領域において、近年化学療法の進歩は目覚ましく、遠隔転移を有するStageⅣ大腸癌（局所進行または切除不能大腸癌）であっても、平均予後が約 2 年半程度と報告されてきています。そこで当科にても遠隔転移を有するStageⅣ大腸癌（局所進行または切除不能大腸癌）の治療成績の詳細を検討する必要があり、StageⅣ大腸癌で治療を行った患者さまの経過を調査することにより、StageⅣ大腸癌の治療成績に関しの一定の見解を得ることができると判断されます。
そこでこのたび、診療内容に関する調査を実施することといたしました。

●調査の方法
調査を行う施設：奈良県立医科大学　消化器・総合外科学教室
対象となる患者さん：2000 年 1 月～2025 年 12 月の間に、当施設で大腸癌 StageⅣと確定診断がなされ、治療を行った患者さん
調査項目：性別、年齢、身長、体重、治療（手術、化学療法、化学放射線療法など）、手術術式（原発巣切除有無、遠隔転移巣切除有無など）、術後合併症、術後入院期間、化学療法の有無、転帰、再発の有無、再発部位、再発後治療など
調査データは、個人を特定する情報をいっさい含まない形で、研究事務局に集められます。

当科におけるStgaeⅣ大腸癌診療の情報を分析し、実際の動向を把握することができます。
この調査結果は、今後標準治療のさらなる普及を進めるにあたり大変役立つ情報となります。

●調査期間
倫理委員会承認日～2028 年 7 月 31 日

●調査の対象となる患者さんへ
1. この調査で集められるデータは、当院のカルテ等、あなたが治療を受け、す

でに存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。
２．事務局に集められた情報から、あなた個人が特定されることはありません。
３．この研究の結果は、学術雑誌や学会にて発表し、StgaeⅣ大腸癌の診療の進歩に役立てていくことになりますが、公表する際にも個人情報が使用されることはありません。
４．この調査は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行います。当施設の倫理委員会において、この調査の対象となった方の不利益にならないことや医学の発展に役立つ情報が得られることが確認され、承認を受けています。

●この調査への協力は任意です。
この調査で使用するデータは、カルテ等あなたが治療を受けた医療機関に、すでに存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。
そのため、患者さんお１人ずつのこの調査へのご協力の意思をあらためてうかがわずに、この「お知らせ」の配布を以て、患者さんのご同意をいただいたものとして実施されます。
調査の趣旨をご理解いただき、この調査にご協力を賜りますようお願いいたします。
この調査でのデータの使用を希望されない場合や，途中からデータの使用取りやめを希望される場合は、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

お問い合わせ先
調査実施責任者
◆研究責任者
　奈良県立医科大学附属病院　消化器外科・小児外科・乳腺外科　岩佐　陽介
◆研究事務局
　奈良県立医科大学附属病院　消化器外科・小児外科・乳腺外科　岩佐　陽介

◆問い合わせ先
　奈良県立医科大学附属病院　消化器・総合外科
　〒634-8522　奈良県橿原市四条町 840 番地
　電話番号 0744-22-3051（代表）　内線　3419